



OASE

Operation Autonomy
Support Engine

オンラインインストール

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

第1.2版

Exastro developer

目次

1. はじめに
 - 1.1 本資料について
2. システム構成
 - 2.1 動作環境・条件(1/2)
 - 2.2 動作環境・条件(2/2)
3. OASE環境構築手順
 - 3.1 オンラインインストール
 - 3.2 事前準備
 - 3.3 OASE環境構築フロー
 - 3.4 環境構築 (1/11)
 - 3.5 環境構築 (2/11)
 - 3.6 環境構築 (3/11)
 - 3.7 環境構築 (4/11)
 - 3.8 環境構築 (5/11)
 - 3.9 環境構築 (6/11)
 - 3.10 環境構築 (7/11)
 - 3.11 環境構築 (8/11)
 - 3.12 環境構築 (9/11)
 - 3.13 環境構築 (10/11)
 - 3.14 環境構築 (11/11)
4. OASE動作確認
 - 4.1 動作確認 (1/4)
 - 4.2 動作確認 (2/4)
 - 4.3 動作確認 (3/4)
 - 4.4 動作確認 (4/4)

1. はじめに



1.1 本資料について

■ 本資料について

- 本資料では、外部のリポジトリを使用する場合に、インストーラーを使ってオールインワン構成（後述）でOASEを構築する手順について記載しています。



2. システム構成

2.1 動作環境・条件

■ OASEをご利用いただくための環境について。

- 「Exastro-OASE_環境構築マニュアル -基本編-」を参照してください。

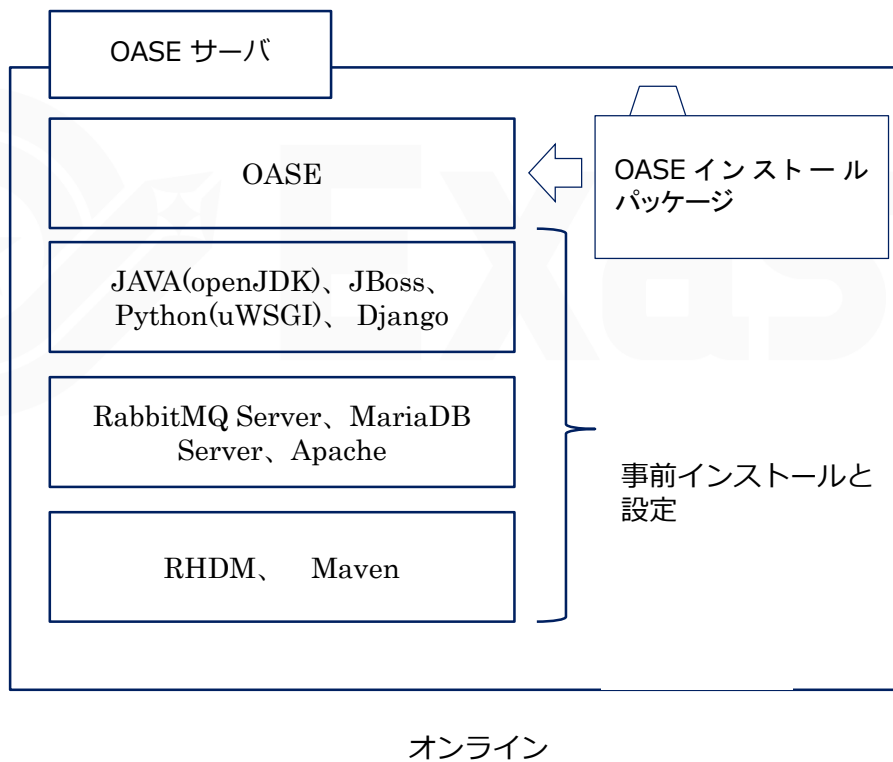


3. OASE環境構築手順

3.1 オンラインインストール

インストール手順について

- OASEサーバがオンライン環境の場合、インターネット経由で必要なライブラリのインストールと、OASEインストーラーを実行して環境構築を行います。



3.2 事前準備

OASE環境構築ツール一覧

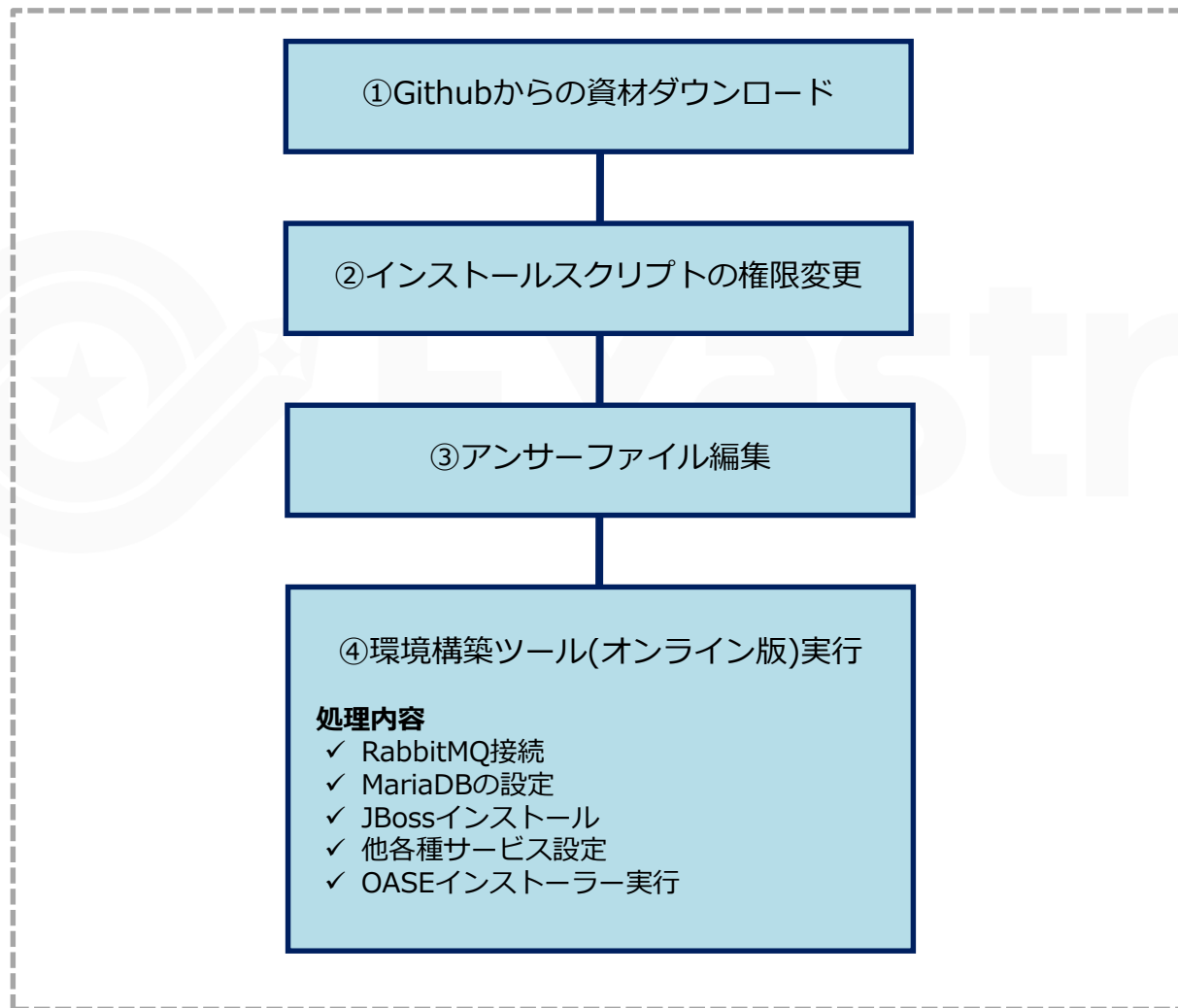
- OASE環境構築ツール一覧は以下となります。

説明	ファイル	格納先
OASEインストーラー	oase_installer.sh	/(インストール資材展開先)/oase/oase_install_package/install_scripts/
アンサーファイル	oase_answers.txt	/(インストール資材展開先)/oase/oase_install_package/install_scripts/

3.3 OASE環境構築フロー

環境構築フロー（オンライン）

- 環境構築は以下のフローとなっています。



3.4 環境構築 (1/11)

Githubからの資材ダウンロード

- 以下のコマンドで資材をDLします。

```
$ wget https://github.com/exastro-suite/oase/releases/download/vx.x.x/exastro-oase-x.x.x.tar.gz
```

※wgetコマンドは事前にインストールしてください。

※バージョン(x.x.x)は適宜変更してください。

インストールスクリプトの解凍

- Zipファイルを解凍します。

```
$ tar zxf exastro-oase-x.x.x.tar.gz
```

answersファイルの編集

- oase/oase_install_package/install_scripts/oase_answers.txt

3.5 環境構築 (2/11)

answersファイル編集(1/3)

- OASE環境構築の設定を行うセッティングファイル(oase_answers.txt)の編集方法を以下に示します。

種目	必須	初期値	説明
install_mode	<input type="radio"/>	Install_Online	インストールモードを選択 (Install_Online, Install_Offline, Gather_Library, Versionup_All, Versionup_OASE, Uninstall)
RabbitMQ_username	<input type="radio"/>	administrator	RabbitMQのユーザー名
RabbitMQ_password	<input type="radio"/>	password	RabbitMQのパスワード
RabbitMQ_queueName	<input type="radio"/>	oase	RabbitMQのキューの名前 (生成されるので任意のもの)
RabbitMQ_ipaddr	<input type="radio"/>	-	RabbitMQのIPアドレス
db_root_password	<input type="radio"/>	password	MariaDBのrootパスワード
db_name	<input type="radio"/>	OASE_DB	OASE用MariaDBデータベースの名前
db_username	<input type="radio"/>	OASE_USER	OASE用MariaDBデータベースのユーザー名
db_password	<input type="radio"/>	OASE_PASSWD	OASE用MariaDBデータベースのパスワード
db_erase	<input type="radio"/>	-	OASEのアンインストール時、DBを消すか、残すかの選択
jboss_root_directory	<input type="radio"/>	/exastro/WildFly	Jbossのインストール先
rhdm_adminname	<input type="radio"/>	admin0000	RHDMの管理者名

3.6 環境構築 (3/11)

answersファイル編集(2/3)

- OASE環境構築の設定を行うセッティングファイル(oase_answers.txt)の編集方法を以下に示します。

種目	必須	初期値	説明
rhdm_password	○	password@1	RHDMのパスワード
dm_ipaddrport	○	localhost:8080	RHDMのIPアドレスとポート番号
rulefile_rootpath	○	/exastro/rule	RHDMのルール設定ファイルパス (生成されるので任意の場所)
apply_ipaddrport	○	127.0.0.1:50001	Applyサービスが起動するIPとポート
mavenrep_path	○	/root/.m2/repository/com/oase/	Maven jarファイルの格納場所
oasemail_smtp	○	"{'IPADDR':'127.0.0.1','PORT':25, 'AUTH':False}"	OASEのメールサーバー設定
oase_directory	○	/exastro	OASEのインストール先パス
oase_session_engine	○	-	OASEセッションの保持方法
ev_location	○	-	AD連携時、クローンJob実行するときのIPアドレス
oase_language	○	ja	使用する言語
oase_os	○	-	使用するOS

3.7 環境構築 (4/11)

answersファイル編集(3/3)

- OASE環境構築の設定を行うセッティングファイル(oase_answers.txt)の編集方法を以下に示します。

種目	必須	初期値	説明
oase_domain	○	exastro-oase.local	OASEのドメイン名
certificate_path	任意	–	ユーザ指定のSSLサーバ証明書に使用するファイルのファイルパス (ユーザ指定のSSL証明書使用時のみ入力。絶対パスで指定してください)
private_key_path	任意	–	ユーザ指定のSSL秘密鍵に使用するファイルのファイルパス (ユーザ指定のSSL秘密鍵使用時のみ入力。絶対パスで指定してください)

ユーザ指定サーバ証明書・秘密鍵について

- サーバ証明書と秘密鍵にユーザが用意したファイルを使用することができます。使用する場合は、サーバ証明書と秘密鍵の両方を用意し、アンサーファイル(oase_answers.txt)の「certificate_path」と「private_key_path」の両方にファイルパスを入力してください。証明書と秘密鍵どちらか片方のみの使用はできません。
- サーバ証明書に中間証明書が付属している場合は、サーバ証明書に中間証明書を連結してファイルを作成し、「certificate_path」に作成したファイルのパスを指定してください。

作成コマンド例

```
# cat [サーバ証明書ファイル] [中間証明書ファイル] > [連結済サーバ証明書ファイル]
```

- 「certificate_path」と「private_key_path」に入力がない場合は、OASEインストーラーがアンサーファイルの「oase_domain」の値を使用して自己証明書を作成・設置します。
(※「oase_domain」の値を自己証明書作成時のコモンネーム、ならびに自己証明書と秘密鍵のファイル名に使用します)

3.9 環境構築 (6/11)

- インストール時にサーバ証明書と秘密鍵は「/etc/pki/tls/certs」のディレクトリに設置され、アンインストール時にはそのディレクトリから削除されますので、ユーザ指定のサーバ証明書と秘密鍵を使用する場合は、オリジナルのサーバ証明書・秘密鍵ファイルの管理に注意してください。
- アンインストールでは、アンサーファイル(oase_answers.txt)の「certificate_path」と「private_key_path」の両方にファイル指定がある場合は、それらの指定されたファイルの削除を行い、ファイル指定がない場合は、アンサーファイルの「oase_domain」に指定されている名前を使用したファイルを削除します

3.10 環境構築 (7/11)

■ アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプル 1/4

- アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプルを以下に示します

```
## Select install mode.
## ("Install_Online", "Install_Offline", "Gather_Library", "Versionup_All", "Versionup_OASE", "Uninstall")
## e.g) install_mode:Install_Online
install_mode:Install_Online

#####
## RabbitMQ
#####
## Decide the RabbitMQ_username.
## e.g) RabbitMQ_username:sample_rabbitmq_username
RabbitMQ_username:admin

## Decide the RabbitMQ_password.
## e.g) RabbitMQ_password:sample_rabbitmq_password
RabbitMQ_password:password

## Decide the RabbitMQ_queuename.
## e.g) RabbitMQ_queuename:oase
RabbitMQ_queuename:oase

## Enter IP address for RabbitMQ.
## e.g) RabbitMQ_ipaddr:127.0.0.1
RabbitMQ_ipaddr:

#####
## MariaDB
#####
## Enter the MariaDB root user's password
## e.g) db_root_password:sample_root_password
db_root_password:password

## Decide the database name, username, and password for OASE.
## e.g) db_name:sample_db_name
db_name:OASE_DB
## e.g) db_username:sample_db_username
db_username:OASE_USER
## e.g) db_password:sample_db_password
db_password:OASE_PASSWD

## In uninstall mode,
## Select "erase" or "leave" oase database
## e.g) db_erase:erase
```

3.11 環境構築 (8/11)

■ アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプル 2/4

```
# In uninstall mode,
# Select "erase" or "leave" oase database
# e.g) db_erase:erase
db_erase:erase

#####
# JBoss EAP
#####
# Enter JBoss install directory.
# e.g) jboss_root_directory:/exastro/JBossEAP
jboss_root_directory:/exastro/JBossEAP

#####
# RHDH
#####
# Decide the Administrator name, password.
# e.g) rhdm_adminname:admin0000
rhdm_adminname:admin0000
# e.g) rhdm_password:password@1
rhdm_password:password@1

# Enter IP address & port for Decision Manager.
# e.g) dm_ipaddrport:localhost:8080
dm_ipaddrport:localhost:8080

#####
# RULEFILE
#####
# Enter root path for RULEFILE.
# e.g) rulefile_rootpath:/exastro/rule
rulefile_rootpath:/exastro/rule

#####
# APPLY
#####
# Enter IP address & port for APPLY SERVICE.
# e.g) apply_ipaddrport:127.0.0.1:50001
apply_ipaddrport:127.0.0.1:50001
```

3.12 環境構築 (9/11)

■ アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプル 3/4

```
#####
# Maven
#####
# Enter repository path for Maven.
# e.g) mavenrep_path:/root/.m2/repository/com/oase/
mavenrep_path:/root/.m2/repository/com/oase/

#####
# OASEメールSMTP設定
#####
# Enter smtp settings.
# e.g) oasemail_smtp:["IPADDR':'127.0.0.1','PORT':25,'AUTH':False]"
oasemail_smtp:["IPADDR':'127.0.0.1','PORT':25,'AUTH':False]"

#####
# OASEインストールディレクトリ
#####
# Enter OASE install directory.
# e.g) oase_directory:/exastro
oase_directory:/exastro

#####
# settings.py
#####
# Decide the EVTIMER SERVER location
# e.g) ev_location:127.0.0.1
ev_location:127.0.0.1

# Select language. ("ja")
# e.g) oase_language:ja
oase_language:ja

# Select Operation System. ("CentOS7" or "RHEL7" or "RHEL8")
# e.g) oase_os:RHEL7
oase_os:RHEL8
```

3.13 環境構築 (10/11)

■ アンサーファイル(oase_answers.txt)の記述サンプル 4/4

```
#####  
# SSLサーバ証明書  
#####  
# Enter the oase domain name.  
# e.g) oase_domain:exastro-oase.local  
oase_domain:exastro-oase.local  
  
# Enter when using user-specified certificates and private keys.  
# If no file path is entered for both "certificate_path" and "private_key_path",  
# the OASE installer creates and installs a self-certificate and private key  
# using the values entered in "oase_domain".  
  
# Enter the file path where the certificate to be install.  
# e.g) certificate_path:/temp/etc_pki_tls_certs/exastro-oase.crt  
certificate_path:  
  
# Enter the file path where the private key to be install.  
# e.g) private_key_path:/temp/etc_pki_tls_certs/exastro-oase.key  
private_key_path:
```

3.14 環境構築 (11/11)

ディレクトリ移動

- 環境構築を設定を行うセッティングファイルとシェルのあるディレクトリに移動します。

```
$ cd oase/oase_install_package/install_scripts
```

環境構築ツール(オンライン版)実行

- 以下のコマンドで、環境構築ツールを実行します。

```
#sh oase_installer.sh
```

- 以上でOASEインストールは完了となります。

4. OASE動作確認

4.1 動作確認 (1/4)

メインメニューの表示による確認

- インストール処理終了後、自端末のWindowsPCから下記の手順により、OASEシステムメインメニューにアクセスし、OASE本体、各ドライバーが正常に表示されたことを確認してください。

URL接続

- 以下のURLより、ログイン画面にアクセスしてください。
- URL : **http:// (サーバのIPアドレス)**

※インストール後は、HTTPとHTTPSの両方のアクセスが可能です。
HTTPはセキュリティ的に脆弱なので、HTTPSでのアクセスを推奨します。
HTTPSでのアクセス方法は、動作確認 (4/4) を確認してください。

ログイン

- OASEのログイン画面が表示されたら、指定のログインID、初期パスワードを入力して、[ログイン]ボタンをクリックしてください。
 - ・ログインID : administrator
 - ・初期パスワード : oaseoaseoase
- インストール後に初めてログインした場合は、「パスワード変更画面」に遷移します。
- パスワード変更画面から、初期パスワードを変更してください。

4.2 動作確認 (2/4)

OASEログイン画面

- 正常にインストールされている場合、以下のようなログイン画面が表示されます。

Exastro
Operation Autonomy Support Engine

Login ID

ログインID : administrator

Password

初期パスワード : oaseoaseoase

Login

パスワードをお忘れの場合 お問い合わせ

4.3 動作確認 (3/4)

各メニューの表示による内容確認

- ログイン後、以下のメニューが正常に表示されることを確認してください。

機能	メニュー
OASE画面	DashBoard
	ルール
	システム
	管理

4.4 動作確認 (4/4)

HTTPSでアクセスするための準備作業

- アンサーファイルの「oase_domain」に設定したホスト名をご使用の環境のDNSサーバまたは操作端末のhostsに登録してください。
- 操作端末（Windows）への証明書インポートを行います。
ユーザ指定のサーバ証明書を使用していない場合、サーバ証明書はOASEインストールパッケージの以下のパスに格納されています。

ディレクトリ	ファイル名
/etc/pki/tls/certs	[アンサーファイルのoase_domainに設定したホスト名].crt

※ユーザ証明書を使用する場合はアンサーファイルの「certificate_path」に設定した証明書ファイルを使用してください。

- Webブラウザに証明書のインポートをしてください。

HTTPSでのURL接続

- 以下のURLより、ログイン画面にアクセスしてください。
- URL : **[https://\[アンサーファイルのoase_domainに入力したホスト名\]](https://[アンサーファイルのoase_domainに入力したホスト名])**
※ドメイン名の代わりに、サーバのIPアドレスでアクセスすることも可能です。

接続後はHTTPの場合と同様となります。



Exastro